

# 『英吉利単語篇』の訳語集の影響関係

鄭英淑\*

ohayochung@ks.kyorin-u.ac.jp

## <目次>

- |                                      |                                  |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. はじめに                              | 5. 『英仏単語篇注解』と、以降の訳語集との関係         |
| 2. 調査資料                              | 5.1 『英仏単語篇注解』と、『対訳名物図篇』と『英仏単語便覧』 |
| 3. 『英吉利単語篇』について                      | 5.2 『英仏単語篇注解』系統と、『対訳名物図篇』系統      |
| 4. 『英仏単語篇注解』(1867)と、『英和对訳袖珍辞書』(1862) | 6. おわり                           |

主題語: 英語講習(a course in English)、英語教科書(an English Textbook)、『英吉利単語篇』、『英仏単語篇注解』、『対訳名物図篇』

## 1. はじめに

万延元(1860)年に英学の講習が始まって以来、次々と英語単語集、文法書、会話書が刊行されていく。1866年には『英語階梯』『英語訓蒙』『英吉利単語篇』という一連の英語教科書が出版されている。この内、『英吉利単語篇』は、オランダ人Van der Pijl の蘭英対訳単語集 Gemeename Leerwijs を基にして開成所より刊行したFamiliar Method for those who begin to learn the English Language (1860)の単語集の部より名詞だけを取り出したものである。1) 1866年に開成所から出版された。1490語の英語が載っており、各語には1番から1490番まで通し番号が付されている。内容は5部に分けられ、各部はテーマごとの構成になっている。Part I は、“table,bench,pen”など、学校関係の用語を扱い、ほかの部には天地、軍事用語、身体、社会語彙、厨房用語、動植鉱物、職業、固有名詞などが収められている。慶応3年に

\* 日本杏林大学 外国語学部 准教授

1) 香川大学図書館(2007)『西洋語まなび事始め』

*Familiar Method for those who begin to learn the English Language* は、蘭英対訳の単語・文法・会話の参考書である Van der Pijl *Gemeename Leerwijs* より英語部分のみを取り出して翻刻したものである。

これの訳語集『英仏単語編注解』が刊行されると、これを利用して同類の訳語集が次々と刊行された。これらの訳語集には、収録の各語にカタカナで発音が示されており、訳語が与えられている。

そこで、本稿では『英吉利単語篇』の最初の訳語集『英仏単語編注解』と日本最初の本格的な対訳辞書『英和对訳袖珍辞書』の訳語を比較し、その上で『英仏単語編注解』と、以降の訳語集を比較して訳語集の影響関係を明らかにしていく。これは当時、西洋語学習のために編纂された資料の発掘と、それらの資料を利用した訳語変遷の研究に役立つと思う。

## 2. 調査資料

- ① 開成所『英仏単語編注解』(慶応3、5月)：訳語のみ
- ② 買山迂夫『対訳名物図編』(慶応3、秋)
- ③ 桂川甫策『英仏単語便覧』(慶応4)：360語目(the feature)の後に、『英吉利単語篇』と、他の訳語集にはない‘forehead’があって、1491語になっている。
- ④ 梅浦元善『通俗英吉利単語篇』(明治4)
- ⑤ 松岡畏子保『英吉利単語篇増訳』(明治4)
- ⑥ 東京玉養堂『英吉利単語篇素読本上・下訳解附』(明治5)：一部の英語見出しがなし(333~340番)、Part Vなし
- ⑦ 市川央坡『対訳名物図編上』(明治5)：絵あり、下は未見
- ⑧ 市川央坡『英国単語図解 上』(明治5)：絵あり
- ⑨ 市川央坡『英国単語図解 下』(明治7)：絵あり

この他に『英国単語字類』(外川西明、明治6)があるが、掲出順を数字・月・日・季節を前に置き、収録語も削除するなど、本稿で対象にする『英吉利単語篇』の構成を独自に改変しているため、ここでは対象外とする。

### 3. 『英吉利単語篇』について

慶応2年に初版と再版が刊行される。両方ともに同じ見出しの1490語が収録されている。再版には初版の誤植の訂正(Reauty→Beauty)があり、また再販に新たに誤植(Fertile→Etrtile)が発生した程度である。詳細は竹中(2008)に報告されているので、ここでは触れないことにする。

初再版にて同じ見出し語が重複される場合があるが、ここではそれを紹介する。同形異義語に当たるこれらの単語はどの部に掲載しているのかを見る。

数字は通し番号

単語	Part I (学校関係) 1~30	Part II (天地) 31~130	PartIV (軍事用語) 131~340	PartIV (身体用語) 341~740	Part V (社会・厨房・ 動植物・職 業・固有名詞) 741~1490
cabin.			146		1111
captain.			166,183		1113
coachman.				714	1133
cock.				702	885,1335
day.		51	244		
deck.			144		1112
<b>engineer.</b>					1098, 1236
<b>engineers.</b>			200		
flame.		56,		681	
foot.		93		411	
game.					761, 1342
lieutenant.			167, 184		
line.	13,				1351
lock.				631	1332
loins.				420, 450	
man.			282, 283		
mast.			145		1110
milk.				424	778
mortar.			221	622	
mouth.		100		374	
<b>muscle.</b>					932
<b>muscles.</b>					352
<b>musician.</b>					1246
<b>musicians.</b>					1360
<b>nail.</b>					1201
<b>nails.</b>				398	
night.	52		278		
partner.					1264, 1318

powder.			216	667	1338
pupil.	30			366	
ribbon.					985、1030
rifle.			219		1330
rudder.			153		1109
sailor.			1115		
sailors.			169		
sand.	21	85			
scent.				465	1347
scents.					1037
screw.					1108、1204
shop.				615	1280
smoke.		58		683	
spark.		57		682	
steel.				677	965
sword.		210			1022
tongue.				380	754
valet.				710、718	
violet.					852、1290
wood.				663	1054

上記の43語は、同形異義語として取り扱われ、意味によって該当部門に掲載されたと思われるが、訳語集には同じ意味で訳されたものもある。これをいくつかの訳語集の訳語を通して確認してみる。

	英仏単語編注解 (慶応3)	対訳名物図編 (慶応3)	英仏単語便覧 (慶応4)	英国単語図解上 (明治5)
146cabin.	船尾房トモノヘヤ	船房センチウノヘヤ	船尾房トモノヘヤ	船房センチウノヘヤ
1111cabin.	船尾房トモノヘヤ	船房トモノヘヤ	船尾房トモノヘヤ	船尾房トモノヘヤ

普通なら同じ見出し語にして、一連番号をつけて意味を記述するのであるが、当時は意味が違うと、別の単語として取り扱われたと考えられる。

#### 4. 『英仏単語編注解』(1867)と『英和对訳袖珍辞書』(1862)

慶応3(1867)年5月に、『英吉利単語篇』の最初の訳語集『英仏単語編注解』が刊行される。ここではまず、『英仏単語編注解』が日本最初の本格的な対訳辞書『英和对訳袖珍辞書』(1862)

を参照したか、について見ていく。

『英吉利単語篇』の英語見出し1490語の内、1240語は『英和对訳袖珍辞書』に見出し語として載っている。これら1240語が『英和对訳袖珍辞書』と、『英仏単語編注解』に、どう訳されているのかを見て、両者の影響関係を考えてみる。

1240語の二者の訳語を一致するもの、若干の違いがあるもの、不一致のものに分けてパート別に示すと、次のようである。

#### 英語見出し1240語の『英和对訳袖珍辞書』と『英仏単語編注解』における訳語の一致度

	Part I (学校関係)	Part II (天地)	Part III (軍服用語)	Part IV (身体用語)	Part V (社会・厨房・ 動植鉱・職業 ・固有名詞)	計
英語見出し	27	88	191	367	567	1240
一致訳語	11	50	86	159	206	512
若干の違い	3	4	17	23	73	120
不一致	13	34	88	185	288	608
一致度	51.9%	<b>61.4%</b>	53.9%	49.6%	49.2%	<b>51%</b>

若干の違いがあるものには、同じ意味に使われる異漢字が利用されたもの(island: 島、嶋)、付けても付けなくても構わないもの(February: 二月、第二月)、句を単語にしたもの(barber: 髭剃ル人、剃髭人、justice: 正直ナルコト、正直)、順番が入れ替わったもの(slate: 盤石、石盤)、仮名遣いに違いがあるものなどを入れた。

上記の一致度51%は、一致するものと若干の違いがあるものを合わせた割合である。一致するもののみにすると、一致度は41.3%である。この数値から見ると、『英仏単語編注解』は、『英和对訳袖珍辞書』のみを参考にしたとはいいいにくい。『英和对訳袖珍辞書』のみでなく、他の学習書も参考にしながら、適当な訳語を工夫したと考えられる。次の訳語には、こうした特徴が見られる

番号 英語見出し	『英和对訳袖珍辞書』	『英仏単語編注解』
1155 hatter.	帽子ヲ造ル人	帽子匠 ボウシツクリ
1156 horse-dealer.	馬ヲ商フ人	馬商 ウマアキンド
1170 potter.	壺ヲ焼ク人	壺匠 ツボヤキ
1173 ropemaker.	縄索スル人	索縄工 ナワナヒ
1126 advocate	代言スル人	代言者 ダイゲンシヤ(訴訟并訴答ノ)

『英仏単語編注解』の訳語は『英和对訳袖珍辞書』の句訳を語訳に直しているが、このよう

なやり方は当時ほかの資料においても見つけられる。

Part II(天地)の単語において一致度が高いが、これは天、山、空気、水、東西南北、地震など、世界どこにもあるもので昔から名前が存在しているからである。

## 5. 『英仏単語編注解』と、以降の訳語集との関係

### 5.1 『英仏単語編注解』と、『対訳名物図編』と『英仏単語便覧』

幕末期に『英仏単語編注解』『対訳名物図編』『英仏単語便覧』が、其々慶応3年5月、秋、慶応4年に刊行される。刊行年度から『対訳名物図編』は、『英仏単語編注解』を、『英仏単語便覧』は、両方を参照した可能性が考えられる。

調査結果、『英仏単語編注解』と『英仏単語便覧』との間に訳語の違いはあまり見られない。一方、『英仏単語編注解』と、『対訳名物図編』との間には訳語の違いが多く見られる。これについては桜井(2000)に報告されている。桜井(2000)にはPart I の30語が紹介されているので、ここでは各Part別に一部の語を例として掲げることとする。

#### < Part I >

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
20 pence	筆筒フデイレ	筆挿フデイレ	筆筒フデイレ
21 sand	砂フリスナ	砂フリスナ	砂スナ
22 sandbox	砂箱スナイレ	砂函スナイレ	砂箱スナイレ
23 foldingstick	箆ヘラ(紙ニ折目ヲ附ケ又ハ切ル為ノ)	裁紙箆カミキリヘラ	箆ヘラ(紙ニ折目ヲツケ又ハ切ルタメノ)
24 exercise	文章ブンシヤウ	習文稿ブンノナラヒガキ	文章ブンシヤウ
25 sealingwax	封蠟フウジラウ	火漆フウジロウ	封蠟フウジラウ
26 wafers	封粘フウノリ	封粘フウジノリ	封糊フウノリ
27 master	先生センセイ	師匠シシヤウ	先生センセイ
28 preceptor	師匠シシヤウ	先生センセイ	師匠シシヤウ
29 scholar	学生ガクセイ	塾生ジユクセイ	學生ガクセイ
30 pupil	弟子デンシ	弟子デンシ	弟子デンシ

#### < Part II >

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
91 Mountain	山嶽 ヤマ	山 ヤマ	山嶽 ヤマ
92 Hill	丘陵 コヤマ	丘 ヲカ	丘陵 コヤマ

93 Foot	山脚 フモト	麓 フモト	山脚 フモト
94 summit	頂上 チヤウジャウ	巔 イタバキ	頂上 チヤウジャウ
95 Rock	岩 イハ	岩 イハ	岩 イハ
96 Brook	小川 ヲガワ	瀧 湫 コナガレ	小川 ヲガワ
97 River	河 カハ	川 カハ	河 カハ
98 bed of a river	河道 カハドコ	河身 カハソコ カハノセ	河道 カハドコ
99 Source	水源 ミナモト	源 ミナモト	水源 ミナモト
99 Mouth	河口 カハグチ	河水朝海處 カハノオチクチ	河口 カハグチ
100 Bank	堤 ツツミ(仏 濱)	河邊 カハベリ	堤 ツゝミ(仏 濱ハマ)

## &lt; Part III &gt;

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
253 january.	第一月	正月 シヤウグワツ	第一月
254 february.	第二月	二月 ニグワツ	第二月
255 march.	第三月	三月 サングワツ	第三月
256 april.	第四月	四月 シグワツ	第四月
257 may.	第五月	五月 ゴグワツ	第五月
258 june.	第六月	六月 ロクグワツ	第六月
259 july.	第七月	七月 シチグワツ	第七月
260 august.	第八月	八月 ハチグワツ	第八月
261 september.	第九月	九月 クグワツ	第九月
262 october.	第十月	十月 ジフグワツ	第十月
263 november.	第十一月	十一月 ジフイチグワツ	第十一月
264 december.	第十二月	十二月 ジフニグワツ	第十二月

## &lt; Part IV &gt;

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
445 rest.	休息 キウソク	休 ヤスミ	休息 キウソク
446 voice.	聲 コエ	聲 コエ	聲 コエ
447 speech.	話語 ハナシ	話 ハナシ	話説 ハナシ
448 reauty(ママ)	奇麗 キレイ	美 ウツクシキ	奇麗 キレイ
449 ugliness.	醜汚 キタナサ	醜 ミニクキ	醜汚 キタナサ
450 health.	壯健 サウケン	健 スコヤカ	壯健 スコヤカサ
451 tallness.	長高 タケタカキ事	身材大 タケタカキ	長高 タケタカキ事
452 smallness.	小 チヒサキ事	身材小 タケヒクキ	小 チヒサキ事
550 flux.	傷冷毒 シャウレイドク	痢病 リベウ	傷冷毒 シャウレイドク
551 diarrhoea.	泄瀉 ハラクダリ	下痢 ハラクダリ	泄瀉 ハラクダリ
552 dysentery.	痢病 リビヤウ	赤痢 アカハラクダリ	痢病 リビヤウ

## &lt; Part V &gt;

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
1062 mine.	礦 カナヤマ	金坑 カナヤマ	礦 カナヤマ
1063 foundery.	鑄鉄場 イモノバ	鑄場 イモノバ	鑄鉄場 イモノバ

1064	forge.	鍛冶場 カヂバ	鍛場 カヂバ	鍛冶場 カヂバ
1065	canal.	溝 ホリワリ	溝 ホリワリ	溝 ホリワリ、ミゾ
1066	passport.	往來印章 トホリギッテ	路引 トホリギッテ	往來印章 トホリギッデ
1067	guide.	案内者 アンナイシヤ	導者 アンナイシヤ	案内者 アンナイシヤ
1068	porter.	雇夫 モノモチ	擔夫 ニモチ	雇夫 モノモチ
1069	carriage.	乗車 クルマ	乗車 ノリクルマ	乗車 クルマ
1070	waggon.	四輪車 シリンシヤ	四輪車 ヨツワクルマ	四輪車 シリンシヤ
1071	cart.	二輪車	二輪車 フタツワクルマ	二輪車 ニリンシヤ

しかし、西欧の近代文明によって生まれた言葉、特に職業を表す言葉などについてみると、三者の訳語はほとんど一致している。特に『英仏単語編注解』と『対訳名物図編』は訳語の一致度が低いにもかかわらずこの分野では高い一致度を見せている。この分野に限っては『英仏単語編注解』以降の訳語集が『英仏単語編注解』を参照したと見られる。例を掲げてみる。

< Part V >

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
1228 astronomer.	天文學者 テンモンガクシヤ	星學者 テンモンシヤ	天文學者 テンモンガクシヤ
1229 botanist.	植物學者 ショクブツガクシヤ	植物學者 ホンザウガクシヤ	植物學者 ショクブツガクシヤ
1230 chemist.	化學者 クワガクシヤ	化學者 クワガクシヤ	化學者 クワガクシヤ
1231 clergyman.	教師 ケウシ	法教師 ハウケウシ	教師 ケウシ(法教ノ)
1232 dancing-master.	踊ノ師匠 オドリノシシヤウ	踊戲師 オドリノシシヤウ	踊ノ師匠 オドリノシシヤウ
1233 dentist.	齒醫者 ハイシヤ	齒醫者 ハイシヤ	齒醫者 ハイシヤ
1240 historian.	歴史家 レキシカ	歴史家 レキシカ	歴史家 レキシカ
1241 language-master.	語學者 ゴガクシヤ	語學者 ゴガクシヤ	語學者 ゴガクシヤ
1242 lawyer.	律學者 リツガクシヤ	律學者 リツガクシヤ	律學者 リツガクシヤ
1243 mathematician.	數學者 スウガクシヤ	數學者 スウガクシヤ	數學者 スウガクシヤ
1244 mechanician.	器械學者 キカイガクシヤ	器械學者 キカイガクシヤ	器械學者 キカイガクシヤ
1245 mineralogist.	礦物學者 カウブツガクシヤ	礦物學者 カウブツガクシヤ	礦物學者 カウブツガクシヤ

一方、『対訳名物図編』には、片仮名で外来語として記すよりは日本語に訳しようとした傾向が見られる。

< Part III >

英吉利単語篇	英仏単語編注解	対訳名物図編	英仏単語便覧
176 commander-in-chief.	コムマンドル・イン・ チーフ 仏ジエ子ラリシム	提督 ソウタイシヤウ	コムマンドル・イン・ チーフ 仏ジエ子ラリシム



177 general.	ゼ子ラール 仏ジェ子ラル	都督 タイシヤウ	ゼ子ラール 仏ジェ子ラル
178 lieutenant-general.	リウテナント・ゼ子ラール 仏リウトナン・ジェ子ラル	副都督 タイシヤウノスケ	リウテナント・ゼ子ラール 仏リウトナン・ジェ子ラル
179 major-general.	マジョル・ゼ子ラール 仏マンシヤル・ドカン	都校尉 タイシヤウワキ	マジョル・ゼ子ラール 仏マンシヤル・ドカン
180 colonel.	コロ子ル 仏コロ子ル	元帥 センニンカシラ	コロ子ル 仏コロ子ル
181 lieutenant-colonel.	リウテナント・コロ子ル 仏リウトナン・コロ子ル	副師 カシラスケ	リウテナント・コロ子ル 仏リウトナン・コロ子ル
182 major.	マジョル 仏マジョル	校尉 カシラワキ	マジョル 仏マジョル
183 captain.	カピテイン 仏カピテイヌ	隊長 ヒユクニンカシラ	カピテイン 仏カピテイヌ
184 lieutenant.	リウテナント 仏リウトナン	副長 ヒヤクニンカシラスケ	リウテナント 仏リウトナン

## 5.2 『英仏単語編注解』系統と、『対訳名物図編』系統

明治初期に入っても『英吉利単語篇』の訳語集が多数刊行される。これらは『英仏単語編注解』系統、あるいは『対訳名物図編』系統のものであることが調査結果分かった。

多数の訳語集の内、『英吉利単語篇増訳』『通俗英吉利単語篇』『英吉利単語篇素読本上・下訳解附』は、『英仏単語編注解』と『英仏単語便覧』の訳語とほぼ一致している。刊行年度から『英仏単語便覧』が『英仏単語編注解』を参照にした可能性が高いので、これらの訳語集は『英仏単語編注解』系統といえる。仮名遣いの違い、注釈の有無や若干の変更、異字漢字使用、音読み・訓読みの使用(例：一行、一行) <sup>イチギヤウ ヒトクダリ</sup> など、それ程重要でない相違である。

『英仏単語編注解』と『英仏単語便覧』の訳語を参照にしながら独自に改訳したりしたと考えられる。この内、『英吉利単語篇増訳』は、『英仏単語編注解』の片仮名表記の外来語扱い語を出来る限り日本語に訳している。この他にも振り仮名を省略した語や注釈を省略した語が他の訳語集に比べて多い。数は少ないが、『対訳名物図編』の訳語を参照にしたことが見られる語もある。Part I の30語を例として掲げてみる。

### < Part I >

番号	英仏単語編注解	英仏単語便覧	英吉利単語篇増訳	通俗英吉利単語篇	英吉利単語篇素読本
1	机 ツクエ	机 ツクエ	机 ツクエ	机 ツクエ	机 ツクヘ
2	腰掛 コシカケ	櫓 コシカケ	椅子 コシカケ	腰掛 コシカケ	腰掛 コシカケ
3	筆 フデ(毛筆ニハアラス)	筆 フデ(毛筆ニハアラス)	筆 フデ	筆 フデ(毛筆ニハアラス)	筆 フデ
4	修筆刀 フデキリコ	筆切小刀 フデキリ	筆切刀子 フデキリ	筆切刀子 フデキリ	筆切刀子 フデキリ

	ガタナ	コガタナ	コガタナ	コガタナ	コガタナ
5	紙 カミ	紙 カミ	紙 カミ	紙 カミ	紙 カミ
6	墨汁 スミ	墨 スミ(彼ノ国ノ墨ハ汁ナリ)	墨汁 スミシル	墨汁 スミ	墨汁 スミ
7	墨汁壺スミツボ	墨壺 スミツボ	墨汁器 ~イレ	墨汁壺スミツボ	墨汁壺スミツボ
8	石盤 セキバン	石盤 セキバン	石盤 セキバン	石盤 セキバン	石盤 セキバン
9	石盤筆 セキバンフデ	石盤筆 セキバンフデ	石盤筆 ~フデ	石盤筆 セキバンフデ	石盤筆 セキバンフデ
10	定規 チャウギ	定規 チャウギ	曲尺 キョクシヤク	定規 チャフギ	定規 ジャウギ
11	石筆 セキヒツ	石筆 セキヒツ	筆飾 フデカザリ	石筆 セキヒツ	石筆 セキヒツ
12	書翰 テガミ	手簡 テガミ	文字 モンジ	書翰 テガミ	書翰 テガミ
13	一行 ギヤウ(ヒトクダリ)	一行 ヒトクダリ	一行 イチギヤウ	一行 ヒトクダリ	一行 ~ギヤウ
14	書籍 ホン	書冊 ホン	書籍 ショセキ	書籍 ホン	書籍 ホン
15	草本 シラチャウ	草本 シラチャウ	手習草紙 テナラヒサウシ	草本 シラチャウ	草本 シラチャウ
16	書付 カキツケ	文牒 カキモノ	書付 カキツケ	書附 カキツケ	書付 カキツケ
17	半枚 マイ	半枚 ハンマイ	半枚 ハンマイ	半枚 ハンマイ	半枚 ハンマイ
18	寫書 ウツシ	法帖 テホン	手本 テホン	手本 テホン	手本 テホン
19	一枚 マイ	一枚 イチマイ	一枚 ~マイ	一枚 イチマイ	一枚 イチマイ
20	筆筒 フデイレ	筆筒 フデイレ	筆筒 フデイレ	筆筒 フデイレ	筆筒 フデイレ
21	砂 フリスナ	砂 スナ	砂 スナ	砂 スナ	砂 スナ
22	砂筥 スナイレ	砂筥 スナイレ	砂筥 ~イレ	砂筥 スナイレ	砂箱 スナイレ
23	籠 ヘラ(紙ニ折目ヲ附ケ又ハ切ル為ノ)	籠 ヘラ(紙ニ折目ヲツケ又ハ切ルタメノ)	籠 ヘラ	籠 ヘラ(紙ニ折目ヲ附ケ又ハ切ル為ノ)	籠 ヘラ(紙ニ折目ヲ附ケ又ハ切ル為ノ)
24	文章 ブンシヤウ	文章 ブンシヤウ	文章 ブンシヤウ	文章 ブンシヤフ	文章 ブンシヤウ
25	封蠟 フウジラウ	封蠟 フウジラウ	封蠟 フウラウ	封蠟 フウジラウ	封蠟 フウジラウ
26	封粘 フウノリ	封糊 フウノリ	封粘 ~ノリ	封粘 フウノリ	封粘 フウジノリ
27	先生 センセイ	先生 センセイ	先生 センセイ学校ノ	先生 センセイ	先生 センセイ
28	師匠 シシヤウ	師匠 シシヤウ	先生私塾ノ	師匠 シシヤフ	師匠 シシヤウ
29	学生 ガクセイ	學生 ガクセイ	弟子 デシ学校ノ	学生 ガクセイ	學生 ガクセイ
30	弟子 デシ	弟子 デシ	弟子私塾ノ	弟子 デシ	弟子 デシ

『英吉利単語篇増訳』が、『英仏単語編注解』の片仮名表記の外来語扱い語を日本語に訳したところの一部を紹介すると、次のようである。

< Part III >

番号	英仏単語編注解	英仏単語便覧	英吉利単語篇増訳	通俗英吉利単語篇	英吉利単語篇素読本
164	アドミラル 仏アマラル	英アドミラル 仏アマラル	艦大将	アドミラル 役名	アドミラル
165	ワイシ・アドミラル 仏ビス・アマラル	英ワイシ・アドミラル 仏ビス・アマラル	下艦大将	ワイシ アドミラル 役名	ワイシ・アドミラル
166	カピテイン 仏カピテイヌ	カピテイン 仏カピテイヌ	首領 又舟将カシラ又タイシヨ	カピテイン 役名	カピテイン
167	リウテナント 仏リウトナン	リウテナント 仏リウトナン	公国ノ奉行	レフテナント 役名	レフテナント
168	ミッドシップメン 仏アスピラン	ミッドシップメン 仏アスピラン	圖將	ミッドシップメン 役名	ミッドシップメン
176	コムマンドル・イン・チーフ 仏ジェ子ラリシム	コムマンドル・イン・チーフ 仏ジェ子ラリシム	總大将	コムマンドル インチーフ	コンマントル、イン、チーフ
177	ゼ子ラール 仏ジェ	ゼ子ラール 仏ジェ	凡	ゼ子ラール	ゼ子ラール

	子ラル	子ラル			
178	リウテナント・ゼ子 ラール 仏リウトナ ン・ジェ子ラル	リウテナント・ゼ子 ラール 仏リウトナ ン・ジェ子ラル	總大将ノ次席	レフテナント ゼ子 ラール	リウテナント ゼ子 ラール
179	マジヨル・ゼ子ラール 仏マンシヤル・ ドカン	マジヨル・ゼ子ラール 仏マンシヤル・ ドカン	支配スル将官(レジメ ンドラ)	マジヨル、ゼ子ラール	マジヨル、ゼ子ラール
180	コロ子ル 仏コロ子 ル	コロ子ル 仏コロ子 ル	将 レジメントノ	コロ子ル	コロ子ル
181	リウテナント・コロ 子ル 仏リウトナ ン・コロ子ル	リウテナント・コロ 子ル 仏リウトナ ン・コロ子ル	總大将 レジメント ノ	リフテナント コロ 子ル	リウテナント、コロ 子ル
182	マジヨル 仏マジヨ ル	マジヨル 仏マジヨ ル	リウテナントシコロ 子ルシノ次ギケブテ インノ上ノ将官年齢 ノ高キ人：之ヲツカ サドル	マジヨル	マジヨル
183	カピテイン 仏カピ テイヌ	カピテイン 仏カピ テイヌ	艦将 センシヤウ	カピテイン	カピテイン
184	リウテナント 仏リ ウトナン	リウテナント 仏リ ウトナン	官長ニ次グ役人	レフテナント	リウテナント
185	インサイン 仏ラン セイニ	インサイン 仏ラン セイニ	旗持	インサイン	インサイン
186	セルゼーント 仏セル ジャアン、マジヨ ル	セルジェーント 仏 セルジャン、マジヨ ル	小使番	セルゼント	セルジェーント
187	コルボラル 仏スー ゾッヒシエ	コルボラル 仏スー ゾッヒシエ	押伍長	コルボラル	コルボラル

『英吉利単語篇増訳』は『英仏単語編注解』系統でありながら片仮名表記の外来語扱い語に関して、『英仏単語編注解』を従わず、日本語に訳している。『対訳名物図編』の訳語と一致している。これは他の資料も参照にして工夫した結果だと考える。

『英吉利単語篇素読本』は、上・下の構成であり、上下ともに前半には英語見出し、後半に訳語が附く形になっている。ところが、上の333~340番の英語見出しが抜けており、訳語のみがある。下は、Part Vがない。

『対訳名物図編』(慶応3)の系統を継ぐものと考えられる訳語集、『対訳名物図編上』(明治5)と、『英国単語図解 上』(明治5)、『英国単語図解 下』(明治7)が刊行される。『対訳名物図編』(慶応3)は、『英吉利単語篇』に発音、訳、挿画をつけた手引書として企画されたものであるが、挿画に予定された空白部はそのままである。挿画をつけるにはいたらなかった。ここに挿画を入れて刊行されたものが明治5年版『対訳名物図編上』である。下もあるはずが、見つからない。両本に差はない。ただし、誤植の訂正やまたの誤植の発生、訳語の混同などである。その例を挙げる。両本には 番号は附いていないが、語の分類、配列は『英吉利単語篇』のままである。

『対訳名物図編』(慶応3)	『対訳名物図編上』(明治5)	
Port, lerboard 左船トリカヂ	Port 左船トリカヂ	九才
Birth	Dirth	十六ウ
Veins 静脈(赤血ノ循環ヲ云)	Veins 静脈(黒血ノ循環ヲ云)	十八ウ
Arteries 動脈(黒血ノ循環ヲ云)	Arteries 動脈(赤血ノ循環ヲ云)	十八ウ

同じ明治5年に刊行された『英国単語図解 上』(明治5)は、明治5年版『対訳名物図編上』と訳語、発音がまったく同じである。違いは挿図が差し替えられたものがあるのみである。そして『英国単語図解 下』は、明治7年の刊行になっている。

## 6. おわり

本稿は、幕末・明治に刊行された『英吉利単語篇』の訳語集9種の訳語の異同を手がかりに、その系統関係を明らかにした。

まず、最初の訳語集『英仏単語編注解』の訳語を『英和对訳袖珍辞書』と調べ、参照にしたかをみた。その結果、参照にしたとはいえるが、他の資料も参照にして独自に訳した可能性が高いと指摘した。

『英仏単語編注解』とほぼ同じ時期に刊行された『対訳名物図編』は、『英仏単語編注解』とは、訳語に違いが多く見られた。以降刊行される訳語集は、この二つの系統を継ぐものであることが判明された。

その他、各資料にどのような特徴があるかについても触れてみた。今後は各資料の訳語の変化について具体的に調べる必要がある。

**【参考文献】**

- 渡辺 実(1962) 『大阪女子大学蔵日本英学資料解題』大阪女子大学付属図書館  
白石 克(1975) 「慶応義塾図書館所蔵 英語辞書解題」『LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』13  
桜井豪人(2000) 「『英吉利単語篇』系統単語集の影響関係」『名古屋大学人文科学研究』29  
香川大学図書館(2007) 『西洋語まなび事始め』  
竹中龍範(2008) 「開成所『英吉利単語篇』と『対訳名物図編』・『英国単語図解』日本の英学200年記念合同大会にて発表

---

논문투고일 : 2012년 09월 10일  
심사개시일 : 2012년 09월 20일  
1차 수정일 : 2012년 10월 10일  
2차 수정일 : 2012년 10월 20일  
게재확정일 : 2012년 10월 25일

---

---

 <要旨>
 

---

## 『英吉利単語篇』の訳語集の影響関係

本稿は『英吉利単語篇』の訳語集の内、9種類についてその特徴及び影響関係を考察してみたものである。その結果は次のとおりである。

- ① 最初の訳語集『英仏単語編注解』は、最初の対訳辞書『英和对訳袖珍辞書』のみでなく他の学習書も参照にして独自に訳した可能性が高くみられた。
  - ② 『英仏単語編注解』と、ほぼ同じ時期に刊行された『対訳名物図編』の間には訳語に違いが多く見られた。
  - ③ 『英仏単語編注解』と『対訳名物図編』以降に刊行される訳語集は、この二つの系統を継ぐものであることが判明された。
  - ④ 『対訳名物図編』には、『英仏単語編注解』系統と違って外来語を片仮名表記するより日本語に訳しようとした傾向が見られる。
  - ⑤ 『英仏単語編注解』系統と見られる『英吉利単語編増訳』には、外来語を日本語訳にしたり、振り仮名を省略したり、注釈を省略したり、独自に改訳した所が多数ある。
- 以上のことが明らかになった。

## The Research of several translated versions of 『英吉利単語篇』

This report considers characteristics and mutual effects of nine translated versions of 『英吉利単語篇』. The result is as follows,

1. The first collection of translation book, 『英仏単語編注解』, has a high possibility of not only referring to 『英和对訳袖珍辞書』, but also independently translated the book by comparing with study materials.
  2. 『対訳名物図編』and 『英仏単語編注解』, which were published almost at the same time, have a lot of disagreements with translations.
  3. The collection of translated words published after 『対訳名物図編』and 『英仏単語編注解』was confirmed that its translations were made based on these two.
  4. In contrast to 『英仏単語編注解』, 『対訳名物図編』has a tendency to translate words in Japanese instead of just writing them with Katakana.
  5. 『英吉利単語編増訳』, which is presumed to be related to 『英仏単語編注解』, has done things such as, translating a loanword in Japanese, omitting how to read a word and annotation, and retranslating independently.
- These have been identified so far.